



校長室から



校長 河須崎 恒
282名の皆さん。卒業おめでとう。今日からは、晴れて「鹿島高校卒業生」となりましたね。本当におめでとう。そして、ありがとう。

今、あなた方の脳裏には、3年間の様々な思い出が走馬燈のように駆け巡っていることと思います。教室でのこと。部活でのこと。友達との思い出。さぞ充実した、思い出多い高校生活だったのでしょうか。そして、今、卒業証書を手にしたあなたがいる。3年間の困難を乗り越えてきた結果です。よく頑張りました。でも、その裏には、家族の助けや先生方の御指導・友達からの励ましと、いつも「温かな目差し」が注がれていた事を忘れてはなりません。

30年近く前、本校の農業科の担任をしていたときの事です。「野菜栽培」の授業実習で、私もクラスの生徒と一緒にサニーレタスの露地栽培に挑戦しました。温室で発芽用の箱に種を蒔き、芽が出たらポットに植え替えて育苗、いよいよ露地(畑)に移植。担当の先生に「過保護」とバカにされるくらい、心配と生徒に負けたくない一心とで毎日温室や畑に通ったものでした。でも、サニーレタスは私が考える以上に強く逞しく、自分の力で育っていきました。サニーレタスが沢山の事を教えてくれた、私にとって楽しみな趣味(家庭菜園)の原点です。

皆さんに似ていませんか。学校生活は、温室の中で露地への移植準備をするようなものです。雨風を防いでくれ、成長に必要な水や肥料を与えてくれるばかりか、病害虫からも守ってもらえました。しかし、露地に移植されたらそうは行きません。台風の猛烈な風雨のみならず、日照りや厳しい寒さにも自分の力で耐えなければなりません。水が欲しければ我が根を地中深く伸ばし、風雨や病害虫によってどんなに痛めつけられても新芽を出し成長し続ける、そんな体力と気概が求められるのです。けっして脅しているつもりはありませんが、世の中に出て生きて行くとはそう言うことなのです。

どうか、自分に厳しく、自分を信じて、あなたの道を切り拓いて行ってください。

卒業おめでとう！

【1】2012年4月9日 入学式
皆さんの中学3年生は、震災1年目の、様々な出来事や思いを抱えながらの日々でした。そして春、「あれから1年」という言葉や思いがあふれていました。



その中で、それぞれに、決意を新たに臨んだ入学式だったことでしょう。

【2】2012年6月23日 高校総体決勝
2014年11月16日 選手権決勝

入学して3ヶ月。高校生活にもすっかり慣れた頃、カシマサッカースタジアムへ行きました。



高校総体出場をかけた、決勝戦でした。左の写真、真ん中ではしゃいでいるのは生徒？
そして昨年の秋、やはり決勝でした。行きたかったですよね。みんなですべて残念でした。

【3】2013年6月17日 スクールバス運行開始

この日から、待望のスクールバスが運行されるようになりました。神栖方面の生徒の多くは、あの坂を自転車を押して通学していたのですが、この日からバス通学に変更した生徒もいました。入学の頃は、10キロ以上の距離を自転車で通っていた生徒もいましたね。上りも大変だが、下りの方が危険で大変だった、とも聞きました。



それでも、3年間自転車を通った生徒もいます。なかなかすごいことです。きっと、大人になったらできません。

【4】鹿苑祭×2 2012&2014

鹿苑祭が2回ありました。1年生の時から、結構独創的でした。写真は、1年3組と1年4組です。



4組はアロマ・キャンドルを作っています。

昨年の鹿苑祭では、担任の似顔絵を描いたり、様々な模擬店を開いたりして、たくさんの方に来ていただきました。



その時の純益は全て寄付されました。今年は、

かつて鹿島高校が建設に関わった、ネパールの学校にも届けていただきました。11年ぶりの交流復活でした。届けてくださった方からの報告によると、並んでいる生徒たちの背後の建物が、当時から使用されている校舎とのこと。

【5】修学旅行と言えば 2013年10月6日

この特集を作るにあたり、何人かの関係者に思い出を聞いてみました。すると、修学旅行については、<台風>という回答をいただきました。ひょとしたら生徒の皆さんはあまり記憶にないかもしれませんが、あのときの修学旅行は、台風と台風の間隙を縫って実施できた、幸運な行事でした。聞けば、那覇空港では着陸のやり直しもあったとのこと。帰校まで、関係者の心配が尽きることはなかったことでしょう。でも、アルバムの中の皆さんの笑顔は、そんなことを少しも感じさせません。



【6】総文祭があった 2014年8月

昨年の夏には、茨城県各地で全国高等学校総合文化祭(通称「総文祭」)が開かれました。総文祭は文化部のインターハイとも言われる大きな全国大会。本校の生徒も、吹奏楽部や将棋部の生徒が大会に参加しました。また、多くの文化部員やボランティアが、大会運営に携わりました。裏方の仕事は、なかなか記録や写真には残りません。でも、参加した生徒自身の記憶に深く残ったことでしょう。



【7】亀のこと

中庭の池には、亀が住んでいる。冬はなかなか姿を見せない。つい先日、いつもの石の上に、亀の姿が目撃された。亀は、一体いつ頃から住んでいるのだろうか。あの池で、一体何度春を迎えたのだろうか。来ては去って行く生徒や職員をどれほど見送ったのだろうか。多分、その多くは、亀を見てない。見てないのに、亀はずっとそこにいる。ただそこに生きている。もうすぐ本当の春。

編集後記: この「鹿苑だより」は学校の広報誌として創刊され、2年目になります。地域の回覧板や、在校生の出身中学に送らせてもらっています。少しでも、本校の日常に触れてもらおうと、あれこれ書いています。ホームページにも、No.1から全てアップしてあります。是非ご覧になってください。本号は、卒業式特別号です。3年間の断片のいくつかを紹介させていただきました。思い出していただけたでしょうか。母校はいくつになっても母校です。卒業生の皆さんの未来に、幸多からんことを祈ります。

茨城県立鹿島高等学校 学校だより
『鹿苑だより』卒業式特別号
発行：茨城県立鹿島高等学校
校長 河須崎 恒
編集：広報委員会
中沢雅彦 山崎律子